

IL TRIONFO DEL TEMPO E DEL DISINGANNO

oratorio, HWV 46a
Georg Friedrich Händel (1685-1759)

Vivava
Opera
Company
Vol.21

ヘンデル作曲・オラトリオ 『時と悟りの勝利』

翻訳：諏訪玲子・解説 / 字幕：三ヶ尻正



松原 友 Tempo

古瀬 まきを Bellezza

谷村 由美子 Piacere

村松 稔之 Disinganno

《指揮》大森 地塩 | 《オーケストラ》Broque Ensemble V.O.C on period instruments リーダー 上塚 憲一

2025.8.30 (土) 14:30 開場 15:00 開演

チケット：前売5,000円・当日5,500円 兵庫県立芸術文化センター小ホール

ホール空調設備と古楽器使用の特性上、冷房が効き過ぎる場合があります。冷房に弱い方は暖かめの服装でご来場いただくか、お手数ですが肩掛けなどをご用意ください。

VOC
Vivava Opera Company

チケット販売・お問い合わせ：VOC事務局 vivavaomori@icloud.com

主催：Vivava Opera Company <http://www.vivava.org/> 後援：日本ヘンデル協会

オラトリオ『時と悟りの勝利』

これを「寓意道徳劇」と呼ぶべきだろうか？たしかに現われるのは4人の寓意人物——「美」(ソプラノ)、「快樂」(ソプラノ)、「悟り」(アルト)、「時」(テノール)といった概念を人格化した人物たちだ。「快樂」は「美」に好きなだけ今を楽しむよう勧めるが、「悟り」と「時」は刹那の悦楽に溺れず色褪せない真理を求めよ、と諭す。紆余曲折を経て「美」は開眼し、悦楽を棄てて真理を求める。そんなお決まりの道徳劇は昔からあったが、スペイン継承戦争でフランス対オーストリアが争い、オーストリア軍が目前に迫っているローマで、なぜいま寓意道徳劇なのか？

謎を解くカギを握るのはこの芝居を仕組んだパンフィーリ枢機卿、フランスの代弁者だ。「オーストリアに勢いがあるのは今だけ。静かにフランスの到来を待つべし。」とのメッセージだ。一見抽象的なテキストも、自派を美化し敵をけなす仕掛けが満載と判れば、凝った言い回しの意図を探るのも面白い。ヘンデルの音楽は具体性あり(鏡のアリア)、情緒ありで(「トゲを避けてバラを取れ」=後にオペラ《リナルド》の「涙を流させて下さい」に転用)、含みのあるテキストをバラエティー豊かに色付けている。最後は壮麗な「ハレルヤ」でも「アーメン」でもなく、「美」が天に心を捧げる静かなアリアだ。なんと粋な幕切れだろう。極上のエンターテインメントを楽しみたい。

三ヶ尻 正 (ヘンデル研究・オラトリオ研究)

VOC(ヴォーク)について

Vivava Opera Company(ヴィヴァヴァ・オペラ・カンパニー:略してVOC)は、音楽家と音楽愛好家をつなぎ、その声や音楽性をそれぞれに育てるためのネットワークです。2001年9月1日に誕生し、音楽を愛し音楽家に活動の場を提供したいと考えるサポーター達が、個人の善意を結集して、日本では上演されることの少ないヘンデルのオペラを中心に定期的な演奏会を開催しております。

今回は、2019年の「エツィオ」以来の公演ですが、オペラ公演ではなく、衣装・映像・演技のないオラトリオのコンサートです。

難曲のため、日本での演奏機会の少ない名曲です。どうぞ、ご期待ください。

Baroque Ensemble V.O.C on period instruments



大内山 薫
Violino I



大橋 麗実
Violino II



中田 美穂
Viola



上塚 憲一
Violoncello



田中 寿代
Contrabasso



河合 隼佑
Oboe I



松本 剛
Oboe II



井上 玲
Flauto dolce I



森本 英希
Flauto dolce II



三橋 桜子
Cembalo



パブロ・エスカンデ
Organo

古瀬 まきを Bellezza 美

Soprano



相愛大学卒業、京都市立芸術大学大学院修了。平成25年度文化庁新進芸術家海外研修員。第15回松方ホール音楽賞、第24回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位及び中田喜直賞、第22回ABC新人コンサート最優秀音楽賞、「エツィオ」フルヴィア、「フィガロの結婚」スザンナ、「魔笛」パミーナ、「ランメルモールのルチア」ルチア、「カルメル会修道女の対話」コンスタンス、「ロメオとジュリエット」ジュリエット、「ホフマン物語」オランピア、「ナクス島のアリアドネ」ツェルビネッタ、池辺晋一郎「千姫」おちよ役など様々なオペラに出演。宗教曲・管弦楽曲のソリストとしても出演を重ねる。平成28年度尼崎市民芸術奨励賞、オペラ「人間の声」の演唱に対し第40回音楽クリティッククラブ賞奨励賞、令和元年度大阪文化祭奨励賞を受賞。同志社女子大学嘱託講師、相愛大学、大阪音楽大学非常勤講師。'21年CD『詩(うた)が咲くとき』をリリース。Xアカウント:@sopmakiwo

谷村 由美子 Piacere 快樂

Soprano



京都市出身。京都市立芸術大学、同大学院声楽専攻首席修了。びわ湖ホール声楽アンサンブル専属歌手として活動後、国際ロータリー財団及びRMF奨学生として、国立バリ高等音楽院声楽科最終課程に留学。バリ地方音楽院では古楽科ディプロムも取得。ナディア&リリ・ブーランジェ国際コン(パリ)、リヨン国際室内楽コンに日本人として初めて優勝するなど、多くの国際コンクールで優秀な成績を収め、ツール歌劇場、パリシヤンゼリゼ劇場等、欧州各地でオペラ、オラトリオ、リサイタルに多数出演。日本では、コルポ指揮マタイ受難曲日本ツアーにソプラノとして出演以降、沼尻竜典、下野竜也、佐渡裕、井上淳一役で出演。大坂センチュリー響、名フィル、京響、日フィルの定期演奏会、ラ・フォル・ジュルネ東京にソリストとして共演。京都青山音楽賞、京都市芸術新人賞、藤堂音楽賞受賞。大阪音楽大学、武庫川女子大学、京都市立芸術大学大学院各非常勤講師。京都フランス歌曲協会、日本フォーレ協会、日本シューベルト協会各会員、アトリエ・リリック京都代表。

村松 稔之 Disinganno 悟り

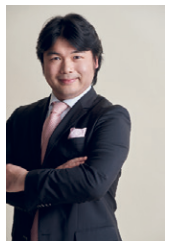
Countertenor



京都市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院を首席で修了。その後渡伊、ノヴァーラG.カンテリ音楽院古楽声楽科で研鑽を積む。第20回ABC新人オーディション最優秀音楽賞、第24回青山音楽賞新人賞、第13回東京音楽コンクール第3位等受賞。2017年度野村財団奨励賞、2019年度京都市芸術文化特別奨励賞。2017年三枝成彰「狂おしき真夏の一日」ユウキ役で好評を博し、2020年の井上道義×野田秀樹「フィガロの結婚」ケルビーノ役で出演。昨年2022年リリースされた武満徹作品アルバム「小さな空」(カメラータ)が「レコード芸術特選盤」に選出されるなど、活躍の場を広げている。また2022年10月にはヘンデルの歌劇『ジュリオ・チェザレ』ニレーノ役で新国立劇場へのオラトリオデビューを果たし高い評価を得る。VOC公演へは2013年ヘンデル作曲歌劇『ロドリング』に出演。村松稔之の公式LINEアカウント ID:@toshiyukiで【友だち追加】

松原 友 Tempo 時

Tenor



東京藝術大学卒業。同大学院修了。ルームミュージックファンデーション、野村財団奨励賞としてミュンヘン音楽大学大学院、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。第51回全国学生音楽コンクール第1位、第14回日仏声楽コンクール第3位、第14回松方ホール音楽賞、第81回、83回日本音楽コンクール第3位、岩谷賞(聴衆賞)、第71回文化庁芸術祭新人賞受賞。東京藝術大学、京都市立芸術大学、武蔵野音楽大学、同志社女子大学、相愛大学、大阪音楽大学、大阪教育大学、夕陽丘高校、相愛高校各非常勤講師。東京二期会、日本演奏連盟、日本シューベルト協会会員。ALM:コジマ録音よりCD「シューベルト歌曲集」発売。シューベルト歌曲連続演奏会-Der Weg zum 2028-開催中。

上塚 憲一

Leader of the Baroque Ensemble V.O.C



京都市立芸術大学卒業。チェロを黒沼俊夫、A.ビルスマ、室内楽をG.ボッセ、S.スタンディジの各氏に師事。大阪文化祭奨励賞、灘ライオンズクラブ賞、坂井時忠音楽賞を受賞。大阪音楽大学教授、同大学付属音楽院講師、西宮高等学校音楽科非常勤講師。チェロ・アンサンブル・エクラ、Baroque Ensemble VOC、アンサンブル・ムジカ・アニマを主宰。ソロ活動のほか、室内楽では播磨室内合奏団(2015年結成)に参加し、自身でも旧テレマン・アンサンブルメンバーの再活動の場としてザ・リターンズ・コンソートを結成した。指揮活動としては、ジョワン(オーケストラ・クラシック・ド・ジョワン / アンサンブル・ジョワン)、チェロ・アンサンブルKobe、アンサンブル・オルタンシア・神戸の音楽監督や指揮者として活動し、地域の活動として明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員、同管弦楽団運営副部長、同ジュニア・オーケストラ常任トレーナーとして活動している。西宮音楽協会会員。

大森 地塩

指揮



関西学院大学法学部、京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。ドレスデン国立歌劇場スタジオバスソリスト。帰国後、堺シティオペラ Artistic Directorとしてドイツケムニッツ劇場の提携公演を実現する。神戸女学院大学、武庫川女子大学音楽学部で教育に携わる。Vivava Opera Companyを主宰し、ヘンデル作曲オペラ「フラヴィオ」、「アルチーナ」、「デイダミア」、「イメネオ」、「トロメオ」、「オルランド」、「ロタリーオ」、「ラダミスト」、「ロドリング」、「エツィオ」を指揮、演出し日本初演を行う。
<https://chishioomoriopern.studio.site/>

兵庫県立芸術文化センター 交通アクセス
阪急神戸線「西宮北口駅」南改札口スグ(連絡デッキで直結)
JR東海道線「西宮駅」より北東へ徒歩15分
(バスご利用の場合、西宮駅北側ターミナルから、阪急バスにて「西宮北口駅」下車)

